



No.111 2021.5.26

明石市コミュニティ・スクールだより

人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

# コミコミスクス

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課



コミスク TwitterQR

## Zoom 活躍中！！えっ！そんなに！

**新型コロナウイルス感染拡大防止へ  
授業参観、オンラインで**

明石小 保護者60人が視聴

新型コロナウイルスの影響で学校行事の開催が中止中、明石小（同市山手町）は、オンラインでの授業参観に取組んでいる。学校別は「オアシス・オンライン」を活用して授業の様子を生配信し、保護者は自宅から画面越しに授業の様子を視聴できる。市教育委員会としてオンライン参観を推進するのは初めて。今年から小中学生に1台のデジタル端末を配布する「GIGAスクール構想」がスタートし、学校にインターネット環境を整えたことを受け、授業参観の代わりとしてオンライン参観を始めた。初回は4年生の3クラスで実施され、教室後方のロッカーの上の方をカメラのモニターとして、約60人が自宅のパソコンやスマートフォンを通して授業の様子を視聴した。26日には全校に実施された。保護者からは「授業の様子をリアルタイムで確認でき、子供が集中している様子や先生の声もよく聞こえた」と好評だった。また、授業参観の代わりに、子供が授業の様子を録音し、保護者に自宅のパソコンやスマートフォンを通して送信する仕組みも導入された。保護者は「子供が授業の様子を知ることができて良かった」と話した。

5/20 神戸新聞朝刊

5月18日から開催された明石小学校のZoomでの授業参観の様子が神戸新聞に掲載されました。学年ごとに曜日を分け、クラスごとに時間を変えての予定表がずいぶん前からホームページ等でも案内されていたので、保護者の皆様も予定しやすかったのではないかと思います。Bluetoothのマイクをつなげるなど、教室の雰囲気は少しでもリアルに伝わるよう工夫されたようです。4校時の時間は12時をまわってから中継が始まるということもあり、お昼休みに職場から参加された保護者の方もおられたのではないかと思います。各学級の視聴者数が「一家庭1台での視聴を」とお願いはされていたようですが8割を超える視聴率はビックリです。先生方からは、「はじめは緊張していたが、実際に教室には参観者がいないこともあり、ふだん通りに授業ができた」、「前後半カメラアングルが決まっていたので立ち位置に気を付けたり、子どもの声がマイクに届いているかを意識したりした」、「少数ながら緊張する子どもはいたが、時間とともに気にせず学習に取り組んでいた」といった感想が聞かれたようですが、確かに違和感があって当然、いろいろ意識して当たり前だと思います。

このコロナ禍で、朝霧小でのZoom学級懇談会を実施してみて、学級懇談会デビューが1・2年目の先生方にとってオンラインということがわかりました。明石小学校の先生の中には、明石小での授業参観デビューがオンラインという先生もおられたことでしょうか。実践してみて各校にはいろいろな保護者の声のとどいているようですが、これから学校と家庭と地域の対話の中で、こうしたオンラインを使ってのつながりについて熟議していくことが必要なのではないかと思います。ここで、保護者の方の視聴率がどの学校も8割程度という数字をどのようにとらえるかだと思います。

このコロナ禍で、朝霧小でのZoom学級懇談会を実施してみて、学級懇談会デビューが1・2年目の先生方にとってオンラインということがわかりました。明石小学校の先生の中には、明石小での授業参観デビューがオンラインという先生もおられたことでしょうか。実践してみて各校にはいろいろな保護者の声のとどいているようですが、これから学校と家庭と地域の対話の中で、こうしたオンラインを使ってのつながりについて熟議していくことが必要なのではないかと思います。ここで、保護者の方の視聴率がどの学校も8割程度という数字をどのようにとらえるかだと思います。

イチロー選手に3年先というちょっとだけ未来からトモロー君がたずねてくるというCMが流れています。そのキャッチコピーが「ICTいま始めればちょっと違うTomorrow」です。

“今始めることで、わずか3年後に大きな違いが生まれる”といったニューノーマルの時代に向けての投げかけだと思います。これって学校には関係のないことでしょうか？教育には関係ないことでしょうか？

「いま始めるとちょっと違う Tomorrow」、ちょっと未来の3年先でさえ、いま始めないと何も変わらない。“いま始めるとちょっと違う学校”になっているのかもしれませんが。それは教師自身が始めた“主体的・対話的で深い学び”が生み出すクリエイティブな学校なのかなと思ったりします。

“いま始めてみるのはいかがですか？”と言われても“何を”と言われてそうですが・・・。  
中学校区でのオンラインで研究の交流をスタートさせようという動きや、校内で気軽に熟議ができる「みんなでラボ（熟議）ろう！」という取組をスタートさせようという学校など、「いま始めるとちょっと違う Tomorrow」に向けて一歩踏み出されはじめています。

## YouTube に面白い動画が

「いま始めるとちょっと違う Tomorrow」の参考になるのではと思う動画です。

“いま始めてみるのはいかがですか？”と言われても何から始めても雲をつかむような話かもしれませんが。しかし、今と過去ではなく、“こんな未来に向けて、何を”という視点で、これらの動画を観ると何か見えてくるかもしれません。その見えてきたものを、同じ動画を観た人と対話を始めるとまた違ったものがみえ、より具体的なものがみえてくるかもしれません。それが教師版“主体的・対話的で深い学び”なのかもしれません。お忙しい中ですが是非時間をみつけて観ていただけたら、そして対話をさせていただけたらと思います。「いま始めるとちょっと違う Tomorrow」に向けて。



その1) 世田谷区オンラインセミナー

「配布された一人一台のタブレットでこれからの学びはどう変わるの？」  
「保護者の皆様の疑問・不安にお答えします」

<https://youtu.be/hb6FalbWVSI>

その2) オンラインシンポジウム「令和の日本型学校教育」を語る！

～一人一人の子供を主語にする学校教育とは～

※中教審のメンバーの方の対話です。答申を読むよりわかりやすいかも。

<https://www.youtube.com/watch?v=Ei2yIBlj0l8>

その3) 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

(中央教育審議会 荒瀬克己)：校内研修シリーズNo.94

※「令和の日本型学校教育」の概要をわかりやすく説明されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=c1Hunt8nqeI>

皆さんと昨年のようにオンラインでの対話をはじめてみようかなと考えています。

その時にはたくさんの方と対話ができたらと思っています。 (文責：北本)